

2 学習指導過程

	基本発問と予想される生徒の反応	指導・援助
導入	◇資料提示をし、資料に登場する人物や場面について、説明する。	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公について「浄土宗の僧侶であること」「江戸時代の人で(1782年～1840年)、槍ヶ岳を開山した人物であること」を説明する。 ・笠ヶ岳と槍ヶ岳の位置関係を示す。
展開前段	<p>◇資料を範読する。</p> <p>○播隆上人は、なぜ、槍ヶ岳に登りたいと思ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笠ヶ岳からの下山後、言葉では言い表すことができないふるえがくっきりと残っていたから。 ・峰々を抜いてそそり立つ槍ヶ岳の姿が神秘的でひきつけられたから。 ・槍ヶ岳の頂に立てば、きっと何かが見える、何かがかめると思ったから。 ・知らない間に自分ほど偉い者はないと思い、日々、小さなことに争い嘆き、富や権力を求めている人間の心を一瞬して打ち砕いてしまう何かがあるはずだから。 <p>◎槍ヶ岳の頂上に立ってまわりの世界を見た時、播隆上人は、どんなことを感じたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限りなく広がる天空の下に山々がまるで槍ヶ岳に付き従うかのように見え、美しいと思った。 ・笠ヶ岳で味わった胸のふるえがより大きく広がるのを感じ続けていた。 ・今まで、見たことがない景観の大きさや美しさに驚いた。 ・人は小さなことで争っていることに気付くことができた。 <p>○「播隆上人が感じたこと」と「これまでの自分自身の自然に対する思い」とを比べた時、共通する感じ方と異なる感じ方はどんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山を見て、「きれいだな。」と感ずることはあったが、播隆上人のように、人間の力の小ささや自然の偉大さまで気付くことはなかった。 ・播隆上人のように胸がふるえるようなことはなかったが、自然を見て、圧倒されて感動したことはある。 ・播隆上人の感じ方は、自分だけでなく、他の人もなかなかできないことが分かった。でも、自然は自分のことを振り返り、見直すきっかけを与えてくれるような力があることが分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・播隆上人は、槍ヶ岳やそこから見た景観にどんな思いを抱いたかを考えながら、範読を聞くように伝える。 ・資料の範読とともに、映像や画像を提示する。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">ブロッケン現象⇒笠ヶ岳からの御来光⇒笠ヶ岳から見える槍ヶ岳⇒原生林⇒100間余りの岩壁⇒槍ヶ岳の頂上からの眺め</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『言葉では言い表すことができないふるえ』『胸のふるえ』とは、どんな思いのことか』『きっと何かが見える、何かがかめる』の『何か』とはどんなことか』等と問い返ししながら、理解を深める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【深めの発問】</p> <p>★「死ぬ直前まで槍ヶ岳の開山に全力を注いだ」播隆上人が感じたのは、自然の大きさや美しさだけだったのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・播隆上人は、自然に対する尊敬の気持ち（自然は人間の力を超えるような存在であること）も感じていたことに気付かせる。 ・グループ交流において生徒一人一人の意見を交流し、異同を整理した上で、学級全体での話し合いを通して、多様な生き方に触れることができるようにする。 ・グループ交流では、播隆上人の感じ方に対する思いを交流し、他者理解を深める。 ・全体交流では、グループの仲間の考えから学んだことや、自分と仲間の感じ方の共通点、相違点について発表し、自分の考えの深まりをまとめることができるようにする。
展開後段	<p>○自分と自然とのつながりを振り返った時、これからどんな時に、播隆上人が感じたような自然への思いをもつことができるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉では言い表すことができないふるえまで感じたことはないが、夕焼けを見た時に、ほっとしたり、明日も頑張ろうと感じたりしたことと似ているのかもしれない。 ・大雪で、木が倒れ、停電したことがある。雪は普段見ていると真っ白できれいで、遊び道具にもなるけれど、人の力ではどうにもできない大きな力をもっていると感じた。自然の美しさと怖さの両方を感じた時、自然の存在の大きさを感じるのではないかと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「播隆上人が感じたことは、槍ヶ岳に登るような非日常的なことがないと感じられないことだろうか」と問いかけ、日常的に触れることができる身のまわりの自然にも目を向けて、自分の生活を見つめることができるようにする。 ・事前に「私たちの道徳」P115・P116に記入した内容から生徒の経験や感じ方を把握しておき、自分のよさに気付いたり、考え方が変化したりした生徒を価値付けられるようにする。
終末	<p>◇本時、高まった生徒の感じ方について、価値付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然に対する思いを、自分なりに多面的に捉えられるようになったこと、仲間との交流を通して、自然に対する認識や感じ方が深まったことを価値付ける。 	<p><変容の見届け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然と人との関わり」や「自然と自己との関わり」について、これまでの自分のよさや考え方の変化を感じ、自然を敬う心情を深めている。